

4/25
 2010年第1041号
 大阪府歯科保険医協会
 敬 志 岐
 大 行 人 志 岐
 阪 市 浪 速 区 幸 町 1-2-33
 電 話 (06) 6568-7731 (代表)
 http://osk-net.org/
 ● 定価・年間10,000円 月1,000円
 ● 1977年5月23日第三種郵便物認可

参加申込は協会事務局まで

「保険で良い歯科」めざす

協会が、歯科医療が抱える問題を患者、歯科医師が共に学び、一緒になって「より良い歯科保険制度」の実現をめざすことを目的とした「保険歯科医療を守り、発展させる大阪の会」(仮)の結成総会を5月29日午後3時から、難波御堂筋ホール(地下鉄なんば駅13番出口直結)で開く。

歯科医師で尚絅学院大学総合人間科学部教授の岩倉政城氏(前東北大学歯学部助教)が「口から見える格差と貧困」のテーマで記念講演する。入場無料で、誰でも参加できる。伊津進弘理事長が、会への加盟と総会への参加を呼びかけている。

●5月29日(土) ●難波御堂筋ホール

患者と歯科医の団体 発足へ

岩倉政城先生が講演



総会では、岩倉政城先生に「口から見える格差と貧困」というテーマで講演いただきます。岩倉氏は、歯科医院の経営危機の背景として、低診療報酬はもとより、政府の福祉切り捨て、規制緩和路線で貧困層が増大し、受診抑制が拡大していることを問題視しています。

岩倉氏は、口腔内の健康保持が全身の健康にとって非常に重要であることが明らかになる一方で、歯科医院にかかる患者は一部に過ぎないと指摘。歯科医療危機を打開するために、歯科の窮状を訴えると共に、歯科医療の大切さを広め、「保険で安心して医療を受けられるよう、そして国民の命と暮らしを中心に据える安心と活力の政治の実現に向けて、医療者は奮闘しなければならぬ」と強調しています。

歯科の現状を患者と歯科医師が共に学び、改善の運動を進めていくために、ぜひスタッフや患者の皆さんと結成総会にご参加ください。

現行の休業保障の存続を

要請 窓口負担、海外技工など改善求める

歯科医療危機の深刻化や受診格差が拡大する中、協会は医療費総額の拡大や患者負担軽減、自主共済の適用除外などを求めて、4月15日に国会要請を実施した。山上絃志副理事長・保団連副会長、小山榮三理事・相談役、古田光行・宮本辰雄・森啓理理事と事務局が参加した。

協会では、大阪選出の全議員に要請し、吉井英勝・宮本岳志(ともに共産党)、服部良一(社民党)の各議員が面談に応じた。

党内部の潮流見極め批判を

鳩山・小沢に引きずられる厚労相



支持基盤に深刻な矛盾が存在
 民主党の支持基盤は①平和主義・構造改革反対・福祉政策支持層と②日米安保維持・構造改革推進・小さな政府論支持層であり、支持基盤に深刻な矛盾が存在している。

構成要素では、(1) 政府執行部を握る鳩山・菅・岡田・前原等(構造改革推進派の大都市中間層トリアーカ十財界十マスコミ)と、(2) 党(国会対策と選挙と資金を仕切る小沢派(連改革推進派の大都市中間層トリアーカ十財界十マスコミ)と、(2) 党保守派(労働組合である連合は保守派小沢と組むという矛盾を抱えている)

医療・社会保障政策

日野秀逸(東北大学名誉教授)

「医療どお〜ナル」第2期
5月6日からスタート

サンテレビ 毎週木曜 午後3時55分

5月放送分のテーマ
「受診格差〜痛くても歯医者に行けない」

「寺谷一紀の医療どお〜ナル」の歯科第2期が、5月6日(木)午後3時55分からサンテレビで始まる。

今回のテーマは「受診格差〜痛くても歯医者に行けない」。大阪社会保険推進協議会が昨年実施した門真国保実態調査でのエピソードを再現し、経済格差による受診抑制の実態を浮き彫りにする。

今回、国会内で開かれた自主共済の今日と未来を考える懇話会の集いで、現在の保険法改正案を批判した上で、法人格取得要件の撤廃に向けた運動が提案された。集いには国会議員が6人、秘書3人が参加し、適用除外の活動に全力を尽くすと発言した。(2面に写真・要請先一覧)

自主共済をめぐっては、政府内で保険業法の改正が検討されているものの、適用除外の要件に一般社団法人格が新たに加えられようとしている。休業保障の存続を求める協会に対し宮本氏は「PTA法案だけで救済措置が終わらないように、保険業法でもきちんと取り上げるようにしたい」と話した。服部氏も「PTAだけを救済するようなり方はおかしい」と語った。

吉井氏は、歯科の海外技工問題で、衆院消費者問題特別委員会(4月7日)で取り上げたことを報告。「大切なのは消費者の安全性だ。国内で法律違反となることが海外なら許されるのはおかしい」と指摘し、国に安全性の確保を求めていくことを約束した。吉井氏の国会質問を受け、消費者庁が実態調査を実施することになっている。

同日、国会内で開かれた自主共済の今日と未来を考える懇話会の集いで、現在の保険法改正案を批判した上で、法人格取得要件の撤廃に向けた運動が提案された。集いには国会議員が6人、秘書3人が参加し、適用除外の活動に全力を尽くすと発言した。(2面に写真・要請先一覧)

「(3)は国民向けの看板として活用されている。(3)は国民向けの看板として活用されている。(3)は国民向けの看板として活用されている。」

「(3)は国民向けの看板として活用されている。(3)は国民向けの看板として活用されている。(3)は国民向けの看板として活用されている。」

「(3)は国民向けの看板として活用されている。(3)は国民向けの看板として活用されている。(3)は国民向けの看板として活用されている。」

お知らせ
 本紙5月5日付は、ゴールデンウィークに伴う印刷・発送体制の都合により、休刊致します。

歯界 大型連休は観光旅行のシーズンである。その人気商品の一つとしてイルカに触れるのは国内でも可能だが、オランウータンと食事をしたり、コアラを抱いたり外国旅行ならでは、私も経験がない。

動物も目立ちたがり強い動物も遊びを楽しむ個体もあれば、人間の前で芸をするのが訓練を受ける以上にストレスとなるものも居る。

常時人間に監視されている動物も時に飼育員の深い配慮で放置されている場合がある。

私はツアー旅行なんかで、独りプールの岸辺でしゃがんでいたら何か一對の動物が私の傍へいそいそと寄ってきた。経験が各地で何度もある。別に仕掛けはなかった動物達を見ていただけだ。

2頭のイルカは私の手の届く所まで泳いで来て裏返って腹を触れると催促したこともある。

構われると孤独を好み、放置されると誰かに構ってもらいたいのは人間も他の動物も同様らしい。